

## 第3号発刊によせて

生命健康科学研究所長 杉山達夫

2004年6月に開所された生命健康科学研究所は、2006年4月の生命健康科学部開設を期に、生命健康科学に関する具体的な研究を進めるため、研究体制の整備を図りつつ、生命健康科学技術の学術基盤の調査研究活動に全力を注いでまいりました。

その主要な活動は、1) 昨年学長の諮問委員会として設立されました学内外の有識者からなる“中部大学ライフサイエンス研究推進アドバイザリーカウンシル”による助言評価のもとに、中長期の視点に立ち研究計画を立案し、これに沿った課題研究の実施、2) 本学生物機能開発研究所との連携により昨年12月5日に「第1回中部大学ライフサイエンスフォーラム」の開催、でありました。これらの活動は当研究所の進むべき方向付けに大きく貢献するものであり、社会への還元を主旨とする研究所の学術研究の方向付けに大きな役割を果たしたものと信じております。

本号には、当研究所の本年度の活動の一部を紹介すべく、当研究所にて学内公募いたしました萌芽研究課題のこれまでの成果を集録いたしました。加えて、上記ライフサイエンスフォーラムにてご講演いただきましたライフサイエンスのわが国における最先端研究リーダーの一人、理化学研究所ゲノム総合科学研究センター長榊佳之氏によるご講演の内容を集録いたしました。編集にあたり、集録内容は学生諸氏への理解に供すべく、また、専門家以外の読者にもご理解を得られやすいことを念頭におきました。この冊子が研究所紀要の範疇を超え、多くの方々に一読賜わり、当研究所へのご理解とご支援を賜りますよう心からお願いする次第であります。